

様式第3号（第4条関係）

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

第11期丹波篠山市女性委員会 第7回委員会

2 開催日時

令和5年6月9日 金曜日 13時30分～

3 開催場所

市民センター2階 研修室5

4 会議に出席した者の氏名

(1) 委 員 （敬称略・順不同）

井上 円香、片岡 正子、畑 弘恵、巻幡 真利子

(2) 執行機関 事務局 市民生活部 人権推進課 課 長 辻川 かおり

男女共同参画センター 課長補佐 善明 浩二

主 事 中安 有朔

(3) 講 師

オフィス EEE 男女共同参画アドバイザー 中村 和子

5 傍聴人の数

0人

6 議題及び会議の公開・非公開の別

全て公開

7 非公開の理由

該当なし

8 会議資料の名称

第11期丹波篠山市女性委員会第7回委員会次第 ほか

9 会議の概要

開会 13時30分～

(1) あいさつ

(畑委員長)

定刻となったので、はじめさせていただきます。

はじめに、令和5年6月より新たに男女共同参画センターに着任となった職員がいるので自己紹介いただく。

「善明課長補佐より自己紹介」

自己紹介が終了したので、早速研修に移る。

(2) 研修

講師： オフィス EEE 男女共同参画アドバイザー 中村 和子

内容： 男女共同参画に関する取り組みについて

(3) 質問・感想

(委員)

中村先生は北播磨5市1町で男女共同参画・女性活躍に関する取り組みをされているが、自治体によって取り組みの温度差はあるか。

(講師)

取り組み始めた当初はあったが今は温度差はない。

多可町は特に盛んで、移住施策において女性達が、行政ができていない隙間部分を自分たちで埋めようと積極的に動いている。

(委員)

何歳くらいの方が取り組まれているか。

(講師)

30代・40代の働き盛りの方が多。仕事終わりや休日に時間を見つけて集まって活動し、意思決定の場に女性が参加しようと頑張っている。

(委員)

意思決定の場とはどのようなことを指すか。

(講師)

ここでの意思決定とは、企業等において決定権を持つ立場の課長等や、議員のことを指す。

資料にも示すとおり、ほとんどの市町で女性の議員数が増加したり、すでに多かったところは現状維持できている。

これらの市町で議員に立候補した女性は、リーダー塾生が多い。リーダー塾に取り組むことで、機運が高まったのではないかと。

なお、こういった取り組みについては、男女共同参画センターや市長が先頭となって行っていく必要があるが、担当者だけで行っていくことは困難な側面がある。そのため、これまで北播磨5市1町で女性リーダー塾を開催して、地域の女性がリーダーとなって積極的に市政や意思決定の場に参加してもらい、男女共同参画センターと繋がって共に男女共同参画を進めていく体制を作ってきた。

(委員)

丹波篠山市は、市の委員会における女性委員の登用を熱心に行っているイメージがある。

(委員)

市の委員会の登用人数は延べ人数で、どれくらいの女性が参加してくれているのか疑問に思う部分もある。

(講師)

特定の委員会に女性が集中している側面はあると思う。どの委員会も男女比率が同程度になることが望ましい。

一般的に、農業委員と防災委員は女性委員が少なくなりがちなので、そこにどれだけ女性委員がいるのかということが一つの指標になる。最近は農業や防災に携わる女性が増えてきているものの、委員会に参加する女性は少なくなりがちなので、それらの委員の男女比率を同率に近づけることは大事。

(委員)

丹波篠山市女性委員会の役割とは何か。役割が薄くなっているのではと感じる部分がある。

(講師)

女性委員会を作られた平成10年代は、様々な市町で「女性の意見を聞くための広聴機能を持つ機関」を立ち上げる動きが多かった。

過去に携わった小野市でも、女性の街づくりリポーター制度を立ち上げて、女性の意見を市政に取り入れるということをした。

その後、一定期間が経過し事業の効果も見られたので、スクラップ&ビルドして女性リーダー

養成塾に変えた。

(委員)

スクラップ&ビルドする場合も、名前を変えて満足するのではなく、市に予算をつけてもらって提案内容が実現できるようにしてほしい。

(講師)

女性委員会も 11 期を迎え、ステップアップする時期だと思う。過去 11 期分の女性委員の方もいらっしゃるので、これまでの積み上げも生かして今後に繋げていくべきだと思う。

(委員)

話が変わるが、最近学校でもトランスジェンダーの問題があり、学校教育の場でも様々な取り組みをしていく必要があると思うが、幼い時から子どもたちに教育していくことは大事になってくるのではないか。

(講師)

子どもたちに考えさせることも手だと思う。昔、小学校に勤めていた時は、子どもたちに考えさせる機会をもたせた。時間はかかるが子どもたちに責任を持って考えさせることで、様々な部分で学びがあると思う。

(委員)

先生の話聞いて、女性リーダーの取り組みは面白いと思った。来年の提言の際に、本日学んだことを参考にして活かしていけたらと思った。

(講師)

女性リーダーを取り組むことで地域の女性のネットワークが構築され、男女共同参画センターが取り組んでいく中でも繋がりができていく。

女性委員会も 11 期ということで約 20 年経過しており、当時とは女性を取り巻く社会情勢も変化しているので、そういったことも考慮したうえで今後取り組んでいってほしい。

(4) 協議事項

(畑委員長)

通常であれば次回の議題および開催日を決めるところだが、定刻も来ているので、後日委員内で調整し、事務局にお知らせする。

(5) 閉会
(畑委員長)
閉会あいさつ